

海岸漂着物

の世界

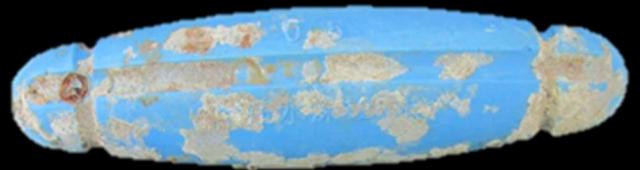
ガラス浮き 石狩湾

プラスチック製の浮きが主流になる前に使われていた浮きです。大きさや形にはさまざまなものがあります。現在でも、稀に漂着することがあります。



プラスチック製の浮き 石狩湾

通称“ブルー紡錘型浮き”とよばれます。主に、中国の刺し網漁で使われるものとされています。オレンジ浮きと同様、さまざまな種類があり、コレクションする人もいます。



プラスチック製の浮き 石狩湾

通称“オレンジ浮き”とよばれます。主に、中国、台湾などの刺し網漁で使われるものとされています。刻印や大きさ、色には、さまざまな種類があり、コレクションする人もいます。



白樺製の浮き 石狩湾

通称“白樺浮き”とよばれます。主に、朝鮮半島の刺し網漁で使われるものとされています。その名の通り、白樺の樹皮を剥いてつくられた浮きです。

